



# 長門の話題 Topics

## 「家族を描こう」をテーマに県内外から355点の応募 香月泰男ジュニア大賞表彰式

10月27日(土)、第20回香月泰男ジュニア大賞の表彰式が香月泰男美術館で開催されました。今回で20回目となる絵画展のテーマは「家族を描こう」で、県内外から355点の応募があり、表彰式では受賞者15人と第20回記念特別賞受賞校3校が表彰されました。最高賞である大賞を受賞し



▲香月婦美子夫人(写真中央)を囲んで受賞者で記念撮影



▲審査員を代表して講評を述べた日本画家の竹内浩一さん

たのは、梅光学院中学校3年生の内田充咲さんで、「我が家の玄関」と題された作品には白いタイルの玄関に置かれた3足の靴が描かれていました。受賞した内田さんは「今まで賞を取ったことがないのでとても嬉しい。父の靴ひもの表現が難しかった」と喜びを語りました。

審査にあたった日本画家の竹内浩一さんは講評の中で、「大賞の内田さんの作品は、色にリズム感があってファミリーの顔が浮んでくる空間に仕上がっている。何よりも気配を感じる表現に着目した」と述べました。また全体の講評として、「地域や日本、世界にはさまざまな家族の形があると思うが、子どもたちがどのようなシーンを作品として選ぶか興味があった。家族や親しい人たち、周りの自然を大切にしてほしい」と述べました。

アウトドアツーリズムコースの設定など連携を確認

## 下関市・長門市両市長会談

11月2日(金)、合併以来14回目となる下関市と長門市の両市長会談が俵山多目的交流広場クラブハウスで開催され、山陰道の建設促進や共同観光の取組のほか、両市の恵まれた自然環境を生かしたアウトドアツーリズムコースを常時設定する取組組みを研究することなどが確認されました。



▲スケールメリットを生かした地域活性化に期待

会場を長門おもちゃ美術館に移して開催

## 木育キャラバンinながと

11月17日(土)、18日(日)の2日間、長門おもちゃ美術館周辺で「木育キャラバンinながと」が開催され、木のおもちゃで遊ぶコーナーのほか、おもちゃ作りなどのワークショップ、芝生広場での外遊びなどが用意され、参加した子どもたちの賑やかな笑顔が会場にあふれていました。



▲芝生広場で木のおもちゃに親しむ参加者

市と山口県立大学が協定を締結

## 健幸づくりを中心に連携

11月5日(月)、長門市と山口県立大学との「包括的連携・協力に関する協定」の締結式が山口県立大学で行われました。市が行う独自のスマートウェルネス制度確立への参画や棚田サミット開催、木育への取組などを連携して進めていくことが期待されます。



▲調印した大西市長と前川理事長

市と長門市シルバー人材センターが協定を締結

## 空き家の適正管理を目指して

10月26日(金)、長門市と長門市シルバー人材センターとの「空き家等の適正管理に関する協定」の締結式が行われました。今後は市が空き家管理の相談を受けた時にシルバー人材センターを紹介するなど、相談窓口を確立し、空き家の適正管理を促進します。



▲調印した大西市長と木下理事長

# 長門のPeople

## フランスで萩焼深川窯を発信

田原 崇雄 さん

(陶芸家/深川湯本在住)



今年、日仏友好160年にあたり、両政府によって「ジャポニスム2018」が開催されるなど日本文化がフランスで広く紹介されています。その一環として、萩焼深川窯で作陶活動をしている田原崇雄さんがフランスのリヨンで開催されたイベントに出席し、萩焼深川窯の歴史や特徴などをアピールしました。

「みなさん日本文化に対して非常に興味を持って接してくれました。フランスの華やかさや比べ、萩焼は落ち着いてシンプルな魅力がありますが、その良さも理解していただけたと思います」と語る田原さん。グルノーブル・アルプ大学の学生に講義をした際は「土や釉薬など専門的な質問もありました。アニメなどから日本に興味を持ったようですが、日本の伝統文化などにも興味を持ってもらえて嬉しい」と学生からの反応を紹介。「萩焼はお茶の世界と密接に関わりあってきた文化。2つの魅力を国内外問わず広めていきたい」と抱負を語ってくれました。

## 旬な人



▲リヨン市庁舎赤の間で萩焼深川窯と茶道の魅力を紹介